

# 大菩薩嶺(2057m)山行報告

【山行日】2015年9月13(日)曇り時々雨後晴

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 3,500円

【メンバー】CL:鈴木、大西、香川、梶内、関、  
藤原、増田

【コースタイム】岩舟支所 P4:00 = 上日川峠  
P6:50/7:10 ~ 石丸峠 9:00 ~ 大菩薩峠 9:30/9:50 ~  
大菩薩嶺 10:50 ~ 雷岩 11:00/11:40 ~ 福ちゃん荘  
12:30 ~ 上日川峠 13:05 = シャトー勝沼 13:45/14:00  
= 岩舟支所 P17:15



今日は尾瀬の至仏山に登る予定だったが、朝2時に天気予報を見ると昼ころから雨の予報。

何処か代替地が無いか調べると、山梨県は雨マークが無く昼ころから晴れの予報になっていた。岩舟支所に集合し、皆さんに天気予報の状況を話すと「雨が降らない山に登りたい」との事で、行き先を大菩薩嶺に変更した。

コンビニであらかじめ用意した、大菩薩嶺の計画書を皆に配り出発する。東北道、佐野藤岡 IC から圏央道白岡菖蒲 IC まで行き、北本桶川 IC から中央道勝沼 IC で降りる。

上日川峠に着くと、駐車場はほぼ満車状態でト

イレの先の駐車場の空スペースにかろうじて止められた。

トイレとストレッチを済ませ、トイレの裏側から谷沿いに緩やかに下って行く。林道手前の沢を渡渉するが、先日の豪雨の影響で水量が多く渡渉に難儀した。渡渉後、急登を少し頑張ると林道に出る。

林道を右に進むと石丸峠への標識があり、左の山道に登るようになる。カラマツ林の急登をジグザグに登って行くと、傾斜が緩くなり尾根をトラバースするようになる。ここからは右側に富士山が見えるが、今日は山頂に雲がかかり左のすそ野がかろうじて見えていた。

しばらく行くと見通しが良い笹原を歩くようになり、リンドウやウメバチソウの花が出迎えてくれる。広々とした草原になり、標識がある十字路が石丸峠。休憩をとり、K 氏の奥様手作りの芋羊羹を美味しくいただいた。真ん中に大きな栗が載った芋羊羹は、プロ並みの出来栄えで大好評だった。

峠から熊沢山に登ると、暗い樹林帯を下るようになり、とても滑りやすく慎重に歩く。





樹林帯を抜けると、大菩薩峠に建つ介山荘が見えてくる。峠には休憩舎やトイレ、中里介山の文学碑があり登山者で賑わっていた。休憩舎で休んでいると、急に雨が降り出してきた。時間に余裕があるので、雨がやむまで待つことにしコーヒーや菓子でおやつタイムとする。雨が止んでから、大菩薩峠の標識の前で記念写真を撮る。峠から北の大菩薩嶺を目指す。南アルプスを見ながらの楽しい稜線散歩のコースだが、まだ山々は雲の中で見えない。

やがて賽の河原の広場へ出て、さらに岩場を越えて尾根を進むと岩が重畳する雷岩に着く。

雷岩から樹林の中を10分も歩くと大菩薩嶺だが、コメツガやダケカンバの樹林に囲まれ、展望は全くなかった。記念写真を撮り、来た道を戻り雷岩でランチタイムとする。今日のランチは、「ちたけうどん」とO嬢が作った出し巻き卵とS嬢のお漬物と豪華。昼食を食べている間に晴れてきて、富士山が姿を現してくれた。山頂までくっきりと見え、南アルプスの山並みやハケ岳も望める。雄大な景色を眺めながら、美味しくランチやデザートをいただき至福のひと時を過ごし下山する。雷岩から唐松尾根を下り、福ちゃん荘へ向かう。



まだ昼前なので、大勢の登山者が登ってくるのですれ違いに時間が掛かる。

都心から比較的交通の便が良いので、富士山の眺望を得られる大菩薩嶺は、人気があるようだ。

福ちゃん荘で休憩し、グレープフルーツで喉を潤し、トイレを済ませて上日川峠に向かう。

広葉樹林の中を、車道に沿って緩やかに20分下るとロッジ長兵衛の脇を通り、上日川峠に出る。トイレを済ませ、帰路につく。

途中、ワイナリーに寄りたいたの要望があり、「シャトー勝沼」に寄る。



大勢の観光客で賑わっていたが、ワインの試飲を何杯もいただき大満足。お土産のワインをゲットし勝沼インターに向かった。インターへの道路が渋滞していたが、反対側へ回り込みスムーズに高速に入れた。ところが大月インターを過ぎたあたりから渋滞にはまり、八王子JCTまで2時間掛かってしまった。帰ってから、至仏山の天気を見てみたら昼前から3時過ぎまで弱い雨が降ったようだ。レインウエアーの御世話にならず、富士山も拝めて本当にラッキーな山行だった。